

ちょっと一言...

能登半島地震から2か月が過ぎました。未だ復旧すらままならない状況に心が痛みます。先日、町内のある先生が「自分は震災を経験していません。安平町の人って震災があったからなのか団結力がある気がします」そう話していました。大切な人やものを失う悲しさ、町を離れる人を見送る寂しさ。手を差し伸べてくれる人の優しさ、互いに励まし合う温かさ。多くのことを乗り越えて今の安平町があります。今は辛く厳しくても人も町も未来がある。被災地の復旧と復興のため、できる支援をしたいと思います。



井内 聖
IUCHI SEI

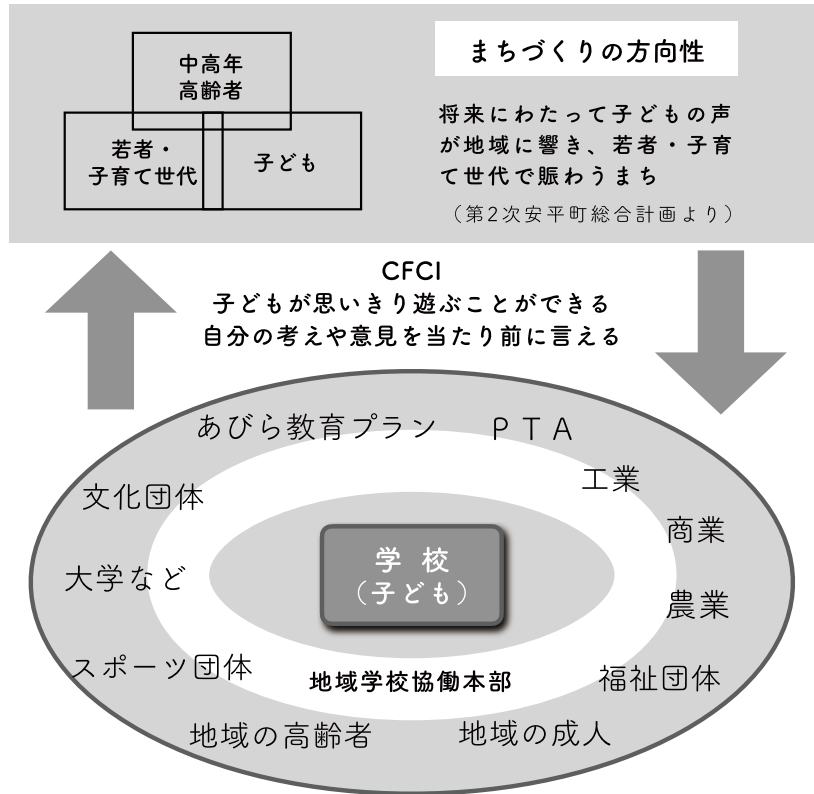
地域プロジェクトマネージャー
子育て・教育総合専門員

2月の活動報告

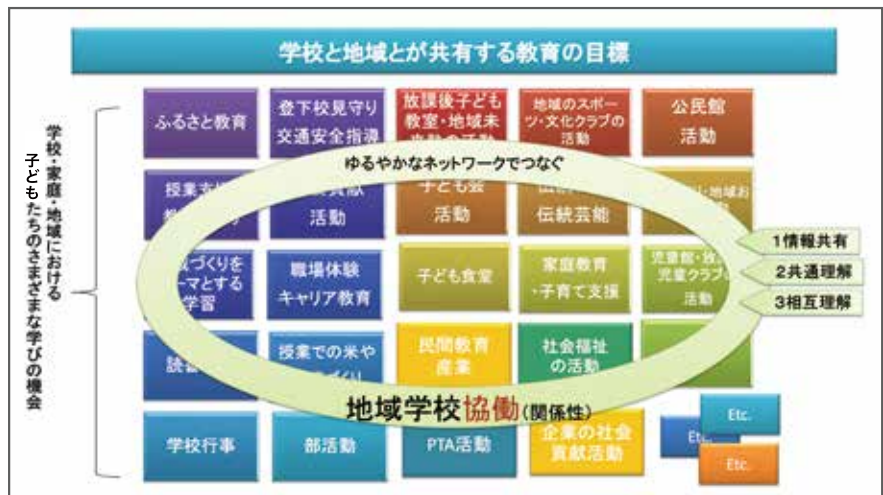
- ・ 校長会、教頭会への参加
- ・ 教育委員会への参加
- ・ 学校運営協議会への参加
- ・ 地域学校協働本部設置要綱検討
- ・ 部活動地域移行支援
- ・ 校務支援システム導入支援

※令和5年度は早来地区を中心に活動します。令和6年度は追分地区を中心に活動します。

子どもにやさしいまちづくりPJ



地域の中に学校がある・地域で子どもを育てる



- ◆ 地域学校協働本部は「ゆるやかなネットワーク」のこと
- ◆ どこかに事務局があったり、事務局長がいるものではない(ネットワーク自体を地域学校協働本部という)
- ◆ 学校のお手伝いを目的とした活動ではない
- ◆ 子どもを中心に、子どものために学校と地域が対等関係で取り組む活動を協働的な活動という